

2005年5月10日

東レ株式会社

中国・華南地区における樹脂事業の再編について

東レ(株)はこのたび、樹脂事業において、中国・華南地区における樹脂の販売、生産機能を統合・再編し、樹脂製品の販売新会社「東麗塑料(香港)有限公司」(TPHK 社)と、樹脂コンパウンドの生産新会社「東麗塑料(深圳)有限公司」(TPSZ 社)をそれぞれ設立、本年4月1日より営業を開始しました。

今回の統合・再編では、樹脂コンパウンド製品の販売子会社である麗碧複合塑料(香港)有限公司(LCH)を存続会社として、同社に東麗(華南)有限公司(TSCH)と東麗(香港)有限公司(THK)およびトーレ・プラスチック・マレーシア社(TPM)香港事務所を統合し、樹脂製品拡販を目的とした新会社『TPHK』を設立しました。同時に深圳の樹脂コンパウンド生産子会社である麗碧複合塑料(深圳)有限公司(LCS)を販売新会社の生産子会社として『TPSZ』に改称することで、生販一体のオペレーションが可能な体制に再編しました。

新会社の設立により、中国・華南地区における樹脂の生産・販売・技術サービスの各機能を一元化し、より効率的、かつ機動的な事業運営を図ります。新会社は今後、ローカルスタッフによる販売、技術サービス体制を強化し、ローカルユーザー向け事業を拡充する一方、生産体制の見直しを加速し、従来の着色コンパウンドに加えて、ナイロン、PBT(ポリブチレンテレフタレート)、およびPPS(ポリフェニレンサルファイト)など高機能樹脂のコンパウンド比率を拡大します。これらの取り組みにより、総合エンブレコンパウンド事業への事業構造転換を図り、幅広い顧客ニーズに迅速に対応できる体制を構築します。

東レはTPHK、TPSZの両新会社を、中国・華南地域におけるグループ樹脂事業の中核拠点として新たに位置づけ、成長著しい華南マーケットにおける樹脂事業の拡大を図ります。販売新会社のTPHKは、統合・再編によるシナジー効果を活かし、既存商圏をさらに発展拡大していくとともに、新規市場開拓を推進することで、2010年の売上高を現在の1.6倍にあたる400億円に拡大する計画です。

東レは樹脂事業において、本年3月にマレーシアに総合技術開発拠点を開設したのをはじめ、中国とタイにおけるコンパウンド設備の増強、そして2006年のマレーシアにおけるPBT樹脂の重合生産開始など、積極的な拡大投資と事業構造改革を推進しています。今回の統合・再編は、グループ樹脂事業の成長拡大戦略の一環として実施するものです。東レは引き続き、マーケットニーズに的確、迅速に対応できるグローバルオペレーション体制を構築していくことで、アジアにおける樹脂のメジャープレイヤーとしてのプレゼンスを一層強化してまいります。

以上

＜新会社概要＞（2005年4月1日現在）

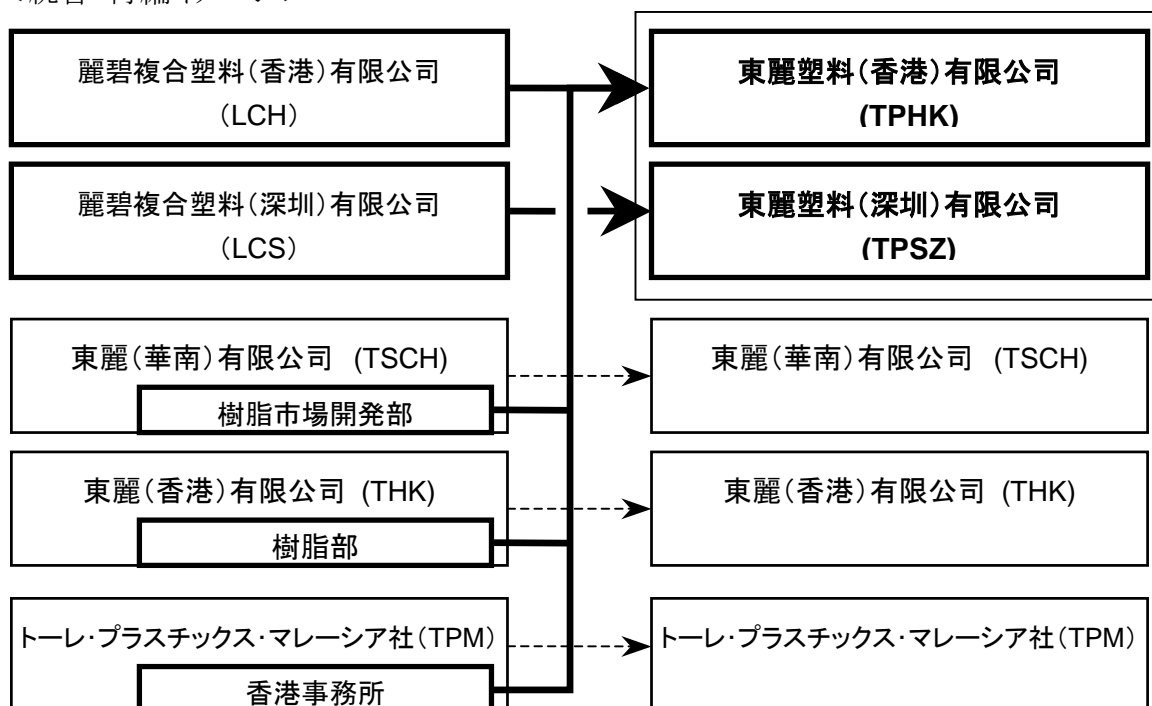
東麗塑料(香港)有限公司 Toray Plastics (Hong Kong) Ltd.（略称:TPHK）

1. 事業概要：香港をはじめとした華南地区における樹脂製品の販売。
2. 社長：山脇 良庸（東レ出身）
3. 資本金：102,733 千香港ドル
4. 株主：東レグループ 100%（東レ株:96.4%、東レ香港(THK):3.6%）
5. 社員数：22名

東麗塑料(深圳)有限公司 Toray Plastics (Sheng Zhen) Ltd.（略称:TPSZ）

1. 事業概要：樹脂コンパウンドの生産、技術サービス。
2. 社長：山脇 良庸（TPHK社と兼任、東レ出身）
3. 資本金：74,914 千RMB
4. 株主：東麗塑料(香港)有限公司 100%
5. 社員数：130名

＜統合・再編イメージ＞



以上

本件に関するお問い合わせ先

東レ株式会社 広報室広報課

電話:03-3245-5179